【Bousai support】.mif ファイルをインポートする手順

Mail: <u>bousai@udri.net</u>

<注意>

.mif ファイルはマニュアル 8 ページを参照の上、正しいデータをご用意ください。

1、 インポートするファイルを選択

【ファイル】-【インポート】-【図形のインポート】をクリックし、インポート処理を開始します。インポートするファイルを選択し、「開く」をクリックしてください。

		-		
79-1140時間中	₩ <i>₹-</i> 9		000	1 🗆 -
11日11日				
州北南部	JIMIN MF		-1	RN CU
77-1148组) 77-1140種類(3):	(Masleto 742) (Pasis)		•	NK(Q) キャンセル

図 1 インポートファイル選択画面

2、 警告文

【はい】をクリックして、次に進みます。



図 2 警告ウィンドウ

3、 詳細な設定

ここでは、インポートする際の詳細な設定を行います。

インポートの[カスタマイズ]を選択してください。(<mark>必須</mark>)

オプションの[作成フィールドに MI を付ける]、[中心点を取り出す]のチェックをはずし てください。(推奨)

【次へ>】をクリックして、次に進みます。

 (2年~) (二日数) (二日数) (二日数) (二一五数) (二一五五、十二552、十二5532人) 	たはつーいで手動で数	UNTS			
住意文表パント-3 23-52月 〒000	NAMADO-H VARADO-H	10.000 10.000			
円 (円数3554/57-1 (前ちから - 2,6380,858)	11.000		-		
12742 「1100~41121が110155 「1912月1日111」が110155					
		1	41/25	1	384.3

図 3 インポート詳細設定画面

4、 クラス・サブクラスの設定

ここでは、クラスとサブクラスの設定を行います。

Area_1(クラス)をダブルクリックして、展開させます。(図4・5)



図 4 クラス・サブクラス設定画面 1



図 5 クラス・サブクラス設定画面 2

.mif ファイルインポートマニュアル

サブクラスが展開しますので、インポートするデータと同じ名前を選びます。今回は、 建物をインポートしていますので、建物(サブクラス)をダブルクリックします。(図6) 【次へ>】をクリックして、次に進みます。



図 6 クラス・サブクラス設定画面 3

5、 フィールドの設定

ここでは、フィールドの設定をします。

右側のボックスには、用意したデータのフィールド一覧です。右側のボックスは、シス テムで使用するフィールドの一覧です。「構造 構造」の様に、フィールド名を対応さ せてください。(図1)



図 7 フィールド設定画面1

3

必要のないフィールドは、左側のボックスからフィールド名を選択し、【×】をクリックします。(図8・9)

【インポート】をクリックして、インポートをスタートさせます。



図 8 フィールド設定画面 2

3e-68-42/67-8 MagDels 93.2		GenConcept 3r-681
HEODH Area,J MAD	-	
Analyte 2116 Alexandre		Post_ID PEA
		Problem Fig Rank
dia diana diana		1997年 王陽志比年 王勝太比科-王国際授編中 王王が授編年
增小量3 注中型4	-17	P

図 9 フィールド設定画面 3

6、 インポート終了後の手順

インポート終了後は、データベース更新処理を行う必要があります。

しかし、建物以外に、道路中心線や消防水利施設など複数インポートするデータがある場合は、1から5の処理を繰り返してください。

すべてのインポート処理が終了した後には、必ずデータベース更新を実行して下さい。

7、 データベース更新終了後

データベース更新終了後は防災まちづくり支援システムを再起動する必要がありますので、 【ファイル】-【終了】からプログラムを終了して、もう一度ウィンドウズの【スタート】 -【プログラム】-【防災まちづくり 1.0】-【防災まちづくり 】を実行してください。

bousai@udri.net